

【記入例】

別添 2（Ⅰ－Ⅰの第8の2関係）

独立行政法人農畜産業振興機構理事長 殿
（都道府県法人経由）

契約内容確認書

国産野菜周年安定供給強化事業の対象とする契約取引の内容等

採択年度 (契約年度)	令和7年度 ●単年契約の場合 → (令和7年度分) ●複数年契約（3年間）の場合 → (令和7～9年度分)			
対象品目	(品目及び品種名)	キャベツ（11月又は1～5月） 対象出荷期間が特定されている品目については、対象出荷期間を記載 （品種名 等） 基本的には、記載を要しないものの、事業実施計画8①Cで実需者等が求める品種を記載している場合には記載。複数年品種ある場合には、「代表的な品種名＋等」との記載でも可		
	(用途)	加工・業務用 ※「加工・業務用」、「生食用」のいずれかを記載		
契約期間 (※1)	●単年契約の場合 令和7年11月1日～令和8年4月30日 ●複数年契約（3年間）の場合 令和7年度：令和7年11月1日～令和8年4月30日 令和8年度：令和8年11月1日～令和9年4月30日 令和9年度：令和9年11月1日～令和10年4月30日 年度毎に本事業の対象となる出荷期間を記載 事業実施計画6に定める範囲内で、余裕を持って設定すること			
該当する契約形態の方のみ記入				
契約方法 (※1)	契約数量 (t)	●単年契約の場合 300.5 ●複数年契約の場合 令和7年度：300.5 令和8年度：300.5 令和9年度：300.5	契約面積 (ha)	●単年契約の場合 10.0 ●複数年契約の場合 令和7年度：10.0 令和8年度：10.0 令和9年度：10.0

加工形態 (※2)	<u>キャベツの千切りカット</u> (注) 3 自ら加工している場合に限り、この欄を記入
契約を増加する理由 (※3)	<u>契約数量の増加分は輸入品からの代替であって、既存国内産地の置換えではありません。</u> (注) 4 に該当する場合に記入
備考 (※4)	<u>令和7年11月25日から出荷開始予定</u> (注) 5 に該当する場合に記入

上記の内容に相違がないことを確認します。

出荷開始及び交付申請書の
発信日より前の日付

令和7年9月1日

住所：〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番地〇号

取組主体名：〇〇加工用キャベツ出荷組合
組合長 〇〇 〇〇

〇〇加工用
キャベツ
出荷組合
印

押印を忘れずに！

令和7年9月1日

住所：△△県△△市△△町△丁目△番地△号

(※5) 中間事業者名：△△青果株式会社
事業本部長 △△ △△

△△青
果株式
会社
印

※各契約者の職位及び氏名を記入
※役職は、契約の締結や発注の権限を有している者を設定することも可。

令和7年9月1日

住所：□□県□□市□□町□丁目□番地□号

実需者名：□□加工株式会社
代表取締役 □□ □□

□□加工
株式
会社
印

(注) 1. 契約書に代わり本様式を提出できるものとする。

2. (※1) については、契約期間が1年を超える場合は、様式に記載欄を追加して取組年度ごとの出荷期間、契約数量又は契約面積が分かるように記載する又は、別紙において一覧表を作成し添付することも可能とする。

3. (※2) については、取組主体自らが対象品目を原料又は材料として使用することにより製造又は加工する場合に限り記載する。

4. (※3) については、契約数量又は契約面積が過去の実績より大幅に増加している場合にあっては、その理由を明らかにした上で、輸入品の代替等であり既存国内産地からの置換えではないことを示すこと。

5. (※4) については、契約開始時期が出荷開始時期と異なる場合にあっては、「出荷開始時期は 年 月 日」などと記載する。

6. (※5) については、中間事業者を経由する場合のみ記載するものとし、複数の中間事業者を経由する場合にあっては、記名欄を追加して全ての中間事業者を記載する。

7. 取組主体、中間事業者及び実需者の順番は変えないこと。

8. 対象出荷期間が特定された品目については、目標年度に事業ほ場における契約取引の全体の出荷量のうち 20%以上を対象出荷期間に出荷することに留意すること。